

第1学期終業式 校長訓辞

おはようございます。
暑い日が続いています。
体調管理は十分できていますか？

この第1学期の大きな行事としては、中3の修学旅行、高2の修学旅行がありましたが、いずれも順調に行程を進めることができ、大きく体調を崩す生徒もなく、また事故もなく、楽しく充実した意義深い旅行になりました。他の学年の校外学習、あるいは先日の球技大会等、この第1学期の行事はほぼ予定通りに行えました。

学校行事はもちろん大事ですが、岡山白陵においては日々の授業がメインです。授業で習得したことをベースにして、中間考査、期末考査あるいは実力考査、校外模試等でその成果は出ましたか？学力の向上、定着には日々の復習が不可欠です。もちろん予習も大事ですが、やりっ放しに終わっていませんか？強い生徒、結果を出す生徒は絶対同じ間違いをしません。自らをしっかりと省みることができる生徒が強いのです。

さて、本校創設者の三木省吾先生が1983年（昭和58年）7月15日に亡くなってちょうど丸40年が経ちました。今、三木省吾先生の名前「省吾」が我々に示唆を与えてくれているように思えます。「省吾」とは読んで字のごとく「我を省みる」という意味です。勉学に限らず、日々の生活の中で「我を省みる」ことの重要性を最近特に感じます。何かに躓いたとき、あるいはやってはいけないことをやってしまったり他人に迷惑をかけたとき、あるいは思うように事が進まないとき、先ずはその原因、要因を考えて、誰かのせいにするのではなく、自己を分析することが必要です。「我を省みる」ことをしないで、ただ前に進むことだけを考えて、次に向かっていったら、同じ失敗を繰り返すことにもなります。今までの、そして今の自分自身に目を向けて、深く考えることが、周囲との調和を生み、そして自分自身の未来にも繋がっていきます。

この後、7/29まで特別授業が続きます。7/30～8/17の19日間は夏休みです。部活の大会、合宿、練習等もあって、普段以上に忙しい日々になる生徒もいるでしょうが、毎日、寝る前に「我を省みる」こと、つまり日々の「反省」、「内省」、「自省」の時間を設けてください。それが必ず次の日に繋がります。

それぞれが、体調管理に気をつけたうえで、充実した夏休みになることを願っています。

以上で第1学期終業式の訓辞を終わります。